

J E N E S Y S 2 . 0

科学技術第 17 陣（テーマ：都市工学・都市計画）青少年交流

1. プログラム概要

本事業は「JENESYS2.0」の一環として、クール・ジャパンを含め、わが国の強みや魅力、日本人の価値観への理解促進を目指し、カンボジア、ミャンマー、東ティモールより都市工学・都市計画に関心を有する大学生訪日団 76 名が来日し、6 月 17 日から 6 月 24 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを行いました。

2. 参加国・人数

3 ヶ国計 76 名：カンボジア（27 名）、ミャンマー（20 名）、東ティモール（29 名）

3. 訪問地

東京都、秋田県

4. 目的

- 1) 日本の科学技術・インフラ・ものづくりに興味・関心を有するアジア諸国の青少年が、クール・ジャパンを含め、我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本人の価値観への理解を深め、帰国後、日本の魅力について積極的に発信する。
- 2) アジア諸国と日本の青少年の相互理解と交流をはかり、将来の礎を築く。
- 3) 日本とアジア諸国の関係を深め、親日家を育てる。
- 4) 日本国内の地方の国際化のため、グローバル人材としての青少年の育成をはかる。

5. 日程

6月17日（火）

入国、来日時オリエンテーション、皇居

6月18日（水）

午前：【歴史・伝統文化】浅草

【体験】新幹線乗車

午後：【地方自治体表敬訪問】秋田県庁

6月19日（木）

【学校交流】秋田県立大学

6月20日（金）～6月22日（日）

【地域概要紹介】仙北市まちづくりの取組

【歴史・伝統文化】角館武家屋敷等

【交流】ホームステイ

【ワークショップ】

6月23日（月）

【体験】新幹線乗車

【視察】東京タワー

報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

6月24日（火）

出国

6. 写真

6-1. 共通プログラム：オリエンテーション

	
6/17 オリエンテーション（東京都）	6/17 オリエンテーション（東京都）
Orientation (Tokyo)	Orientation (Tokyo)

6-2. 都内プログラム

	
6/17 歴史・伝統文化：皇居（東京都）	6/18 歴史・伝統文化：浅草寺（東京都）
Historical and Traditional Culture: Imperial Palace (Tokyo)	Historical and Traditional Culture: Sensoji Temple (Tokyo)
	
6/23 最先端技術：東京タワー（東京都）	6/23 最先端技術：東京タワー（東京都）
Cutting-Edge Technology: Tokyo Tower (Tokyo)	Cutting-Edge Technology: Tokyo Tower (Tokyo)

6-3. 地方プログラム（秋田県）



6/18 地方自治体表敬訪問：秋田県庁（秋田市）
Courtesy Call: Akita Prefectural Government
(Akita City)



6/19 学校交流：秋田県立大学（由利本荘市）
School Exchange: Department of Architecture
and Environment Systems, Akita Prefectural
University (Yurihonjo City)



6/19 学校交流：秋田県立大学（由利本荘市）
School Exchange: Department of Architecture
and Environment Systems, Akita Prefectural
University (Yurihonjo City)



6/19 学校交流：秋田県立大学（由利本荘市）
School Exchange: Department of Architecture
and Environment Systems, Akita Prefectural
University (Yurihonjo City)



6/19 学校交流：秋田県立大学（由利本荘市）
School Exchange: Department of Architecture
and Environment Systems, Akita Prefectural
University (Yurihonjo City)



6/19 学校交流：秋田県立大学（由利本荘市）
School Exchange: Department of Architecture
and Environment Systems, Akita Prefectural
University (Yurihonjo City)

	
6/20 歴史・伝統文化：角館武家屋敷（仙北市） Historical and Traditional Culture : Kakunodate Samurai Houses (Senboku City)	6/20 歴史・伝統文化：角館武家屋敷（仙北市） Historical and Traditional Culture : Kakunodate Samurai Houses (Senboku City)
	
6/20 歴史・伝統文化：角館武家屋敷（仙北市） Historical and Traditional Culture : Kakunodate Samurai Houses (Senboku City)	6/20 ホームステイ対面式（仙北市） Meeting with Host Family (Senboku City)
	
6/21 ホームステイ（仙北市） Homestay (Senboku City)	6/21 ホームステイ（仙北市） Homestay (Senboku City)

	
6/22 ホームステイ歓送会（仙北市） Farewell Party with Host Family (Senboku City)	6/22 ホームステイ歓送会（仙北市） Farewell Party with Host Family (Senboku City)
	
6/22 ワークショップ（秋田市） Workshop (Akita City)	6/23 最先端技術：新幹線体験（秋田市） Cutting-Edge Technology: Shinkansen Ride (Akita City)

6－4．共通プログラム：報告会

	
6/24 報告会：カンボジア・グループ（東京） Reporting Session: Cambodia Group (Tokyo)	6/24 報告会：ミャンマー・グループ（東京） Reporting Session: Myanmar Group (Tokyo)



6/24 報告会: 東ティモール・グループ (東京)
Reporting Session: Timor-Leste Group (Tokyo)



6/24 修了証授与 (東京)
Presentation of Certificate (Tokyo)

7. 参加者の感想（参加者の感想文の抜粋）

◆今回の訪問を通じて、もっとも印象に残ったこと、また帰国後伝えていきたいこと

7-1. カンボジア・グループ（訪問地：秋田県）

・ JENESYS2.0 に参加する事によって、私は日本や日本人について多く学びました。日本に到着して、羽田空港で私達訪日団は日本人の空港のスタッフや関係者から温かく迎え入れられました。日本は全ての分野が進歩しており、高品質で衛生的な食品をつくる技術、農業の研究、全国的に高層ビルや交通機関が行き渡っており、全ては地震や自然災害から守る技術・装置を取り備えて造られていて、これらは私達土木建築を学ぶ学生にとって大変興味深い分野です。また、地上で走る高速新幹線は都会と地方を繋げ、国民の生活のみならず地方の経済のために大きな役割を果たしている乗り物だと考えます。教育分野では都市と地方ではさほど格差がなく、秋田県立大学では勉学や研究に必要な革新的な設備が設置され、大学生が自主研究を自由にできる環境が整っており、卒業時には学生が高度な知識・能力を身に付けています。皇居と浅草寺は日本の伝統文化の象徴であり、同時に世界的に有名な観光地でもあります。日本人は礼儀正しく、お互いを尊重し、活発的に活動をしています。これらは日本に対する素晴らしい印象であり、帰国したらカンボジアの人々に伝えたいと思っています。

・ 私は日本が東アジアに位置する国であり、第二次世界大戦に参戦し負けた国であり、戦後日本政府と日本国民は一丸となって懸命に働いて急速的に自国の経済やインフラ整備を復興させました。それだけではなく、日本は地理的に海に囲まれ、地震や自然災害に多く見舞われているにも関わらず、日本は高い知識や技術を持つ人材を豊富に持っていることにより、日本の科学技術を進歩させ、地震や自然災害に対抗できる建物やインフラ整備を構築しています。一方、日本人は伝統文化を大切に保存し、素晴らしい国民性と感じました。日本は世界的に科学・技術が進歩している国というだけでなく、様々な観光資源をもっている事も印象的でした。帰国後、私は日本で学んだ知識や経験を家族や友人に伝授し、日本の素晴らしさを広めたいと考えています。そして、日本政府・日本人の皆さん、私達カンボジアの大学生が日本に訪れる機会を与えてくれて、心から感謝しています。将来日本に来て、日本から多くのことを学びたいと願っています。

・ 本プログラムを通じて、私は日本の革新的な技術進歩・文化・伝統・経済・政治・インフラ整備について学びました。また、日本人の私達訪日団に対する親切と温かさは印象的でした。講義や発表などにより、日本の各地では特色があり、面白い国であることがわかりました。そして、日本は古代からの伝統文化を都会や地方に関わらず大切に保存し伝授してきました。古くて歴史的な建物やお寺、特に世界的に知られる浅草寺などは日本人の素晴らしい文化の象徴と印象付けます。一方、都市計画・都市工学の観点からは、交通のインフラ整備が発達し、道路・水路及び空路は移動手段が整っており、技術進歩の特徴である新幹線は便利で安全で且つ快適な乗り物でした。また、日本の水路システムは整備されており、快適な日本人の生活を守るだけではなく農業用の水路システムも完備し、日本の農業の発達を支える要因となっており、日本の教育制度は国際的な基準に適合しています。同様に日本の地方分権は進んでおり、その結果として日本の各県の経済基盤を強めていると見受けられます。日本人は心が広く、言葉や習慣文化が違っていても、外国人と丁寧に快く交流することもわかりました。

7-2. ミャンマー・グループ（訪問地：秋田県）

・ 日本訪問するまでは、日本は先進国であり、国民は働き者で、そしてルールを守るロボットみたいな国民だと思っていました。しかし、実際訪問したところそれは違うことに気付きました。日本は技術面においての先進国であるだけでなく農業でも先進国であります。近代的な建物も沢山ありますが、伝統的な建物の保存ができています。日本人は親切で暖かいです。帰国後はこれらの私の体験を友達、親戚、家族、そして学生たちに伝えたいです。

・ 私にとって、日本へ訪問できたことはとても幸せなことでした。感謝します。日本人はとても親切で暖かく、そして他の人を助ける国民です。近代的な建物はとても面白かったです。日本人は規則正

しいです。私は帰国後、友達や友人に日本へ行くように勧めたいです。

・帰国後は日本訪問体験を家族、友人と共有したいです。日本人や日本の技術はこれからも忘れられないと思います。私は日本の家が好きです。なぜならコンパクトで耐震性に優れているからです。多くの家は材木フレームでできており、それはとても魅力的です。なぜなら、私たちの国もそのような家作りの計画をすべきだと思っているからです。チャンスがあれば、日本でフレーム・インフィルについて学びたいです。

7-3. 東ティモール・グループ（訪問地：秋田県）

・日本訪問は私の夢でした。日本にいるのだと実感した時は本当に幸せな気分になりました。日本について記憶に残ること、興味深いことは科学技術の分野に留まらず、歴史、文化、ライフスタイル、気候、言葉など多岐にわたってあります。また、地震から身を守るために柔軟性のある家を建てたり、効率的な土地利用（ホームステイしたお宅では2.5ヘクタールしかない土地に宿泊施設、農地、2階建ての自宅住居を所有していました）であつたりと日本滞在中にはたくさんのことを学びました。日本人は前向きで勤勉で思慮深い人々です。たとえ自然災害で壊滅的な被害を受けても前向きに、懸命に復興に励む人々です。また、都市計画の点でも体系的で素晴らしい制度が確立されています。街づくり、景観保全地区等の視察を通してたくさんのことを学びました。帰国後は日本滞在中に撮った写真を活用して日本人の国民性、工夫する能力を広く紹介していくつもりです。

・帰国後は日本で習得した知識を家族、友人はじめ自国の人たちに伝えていくつもりです。日本の強み、文化、高度先端技術、世界遺産、ライフスタイルについては是非伝えたいと考えています。まず初めに伝えたい興味深い日本の文化でわが国では決して見られない事のひとつは、日本の小学生は学校に雑巾を持っていき、放課後に自分たち自身で教室を掃除していることです。なぜならば、きれいにすることは健全と美の象徴であると考えられるのです。これは素晴らしい教育です。これまでの私の人世の中でも一番です。次に伝えたいことは日本のハイテクについてです。例えば、自動トイレです。ホテルで使われているような自動トイレが農家でも使われているというのは大変興味深い事です。最後に日本人のライフスタイル、世界遺産、美しい日本について伝えたいと思います。帰国後、日本について我が国の人々に伝えたいことを述べましたが、私にとって最も興味深かったのは日本の文化と教育についてです。これは是非、自国の多くの人たちと共有すると共に私自身の中にも忘れずしっかり留め置きたいと思います。なぜならば、国の強み、文化、互いに尊敬し合う心、良い教育をもってすれば我が国を発展させることができると考えるからです。

・初めての日本訪問でしたが日本人々は控えめで慎ましく私を迎えてくれました。そして、多くのことを学びました。日本で学んだことは自国に持ち帰って共有したいと考えています。例えば、日本が保有する天然資源はわずかにもかかわらず、地熱、風力エネルギーなどそれらを最大限に活用しています。また、勤勉で文化を保持し続け、思慮深く、慎み深い人々です。子供の頃から一生懸命に生きること、勤勉であることを学び、それが自国と自身の人生の発展に大きく貢献しているようです。現代的な生活様式の中であつても独特の文化がしっかり保持されています。

以上